

令和6年度学校評価アンケート結果

1 集計結果

○表の数値は、回答を「そう思う（４）」「少しそう思う（３）」「あまりそう思わない（２）」「ほとんどそう思わない（１）」として計算したときの平均値を表す。

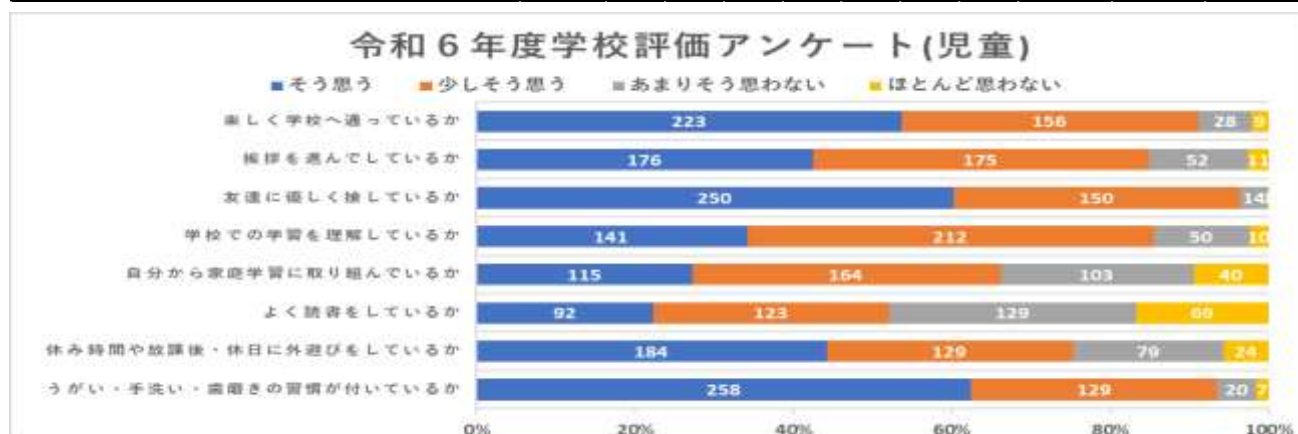
（１）保護者アンケート （回答率 74.6%）

	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	さく ら	平 均	R5年度 前期平均	R4年度 前期平均	R3年度 前期平均
楽しく学校へ通っているか	3.6	3.3	3.4	3.3	3.4	3.3	3.7	3.4	3.5	3.6	3.6
挨拶を進んでしているか	3.1	3.0	3.3	2.8	3.2	3.2	2.8	3.1	3.2	3.3	3.3
友達に優しく接しているか	3.5	3.4	2.0	3.3	3.4	2.7	3.3	3.1	3.3	3.6	3.5
学校での学習を理解しているか	3.4	3.0	2.7	2.7	3.0	3.0	2.8	2.9	3.1	3.1	3.2
自分から家庭学習に取り組んでいるか	2.7	2.4	3.5	2.2	2.6	2.4	2.2	2.6	2.8	2.8	2.7
よく読書をしているか	2.2	1.9	3.8	1.8	2.2	2.1	2.0	2.3	2.6	2.4	2.6
休み時間や放課後・休日に外遊びをしているか	3.3	3.1	2.8	3.0	3.1	3.0	2.7	3.0	3.0	3.1	3.2
うがい・手洗い・歯磨きの習慣が付いているか	3.4	3.3	2.4	3.1	3.3	3.2	3.7	3.2	3.2	3.5	3.4



（２）児童アンケート （回答率 98.1%）

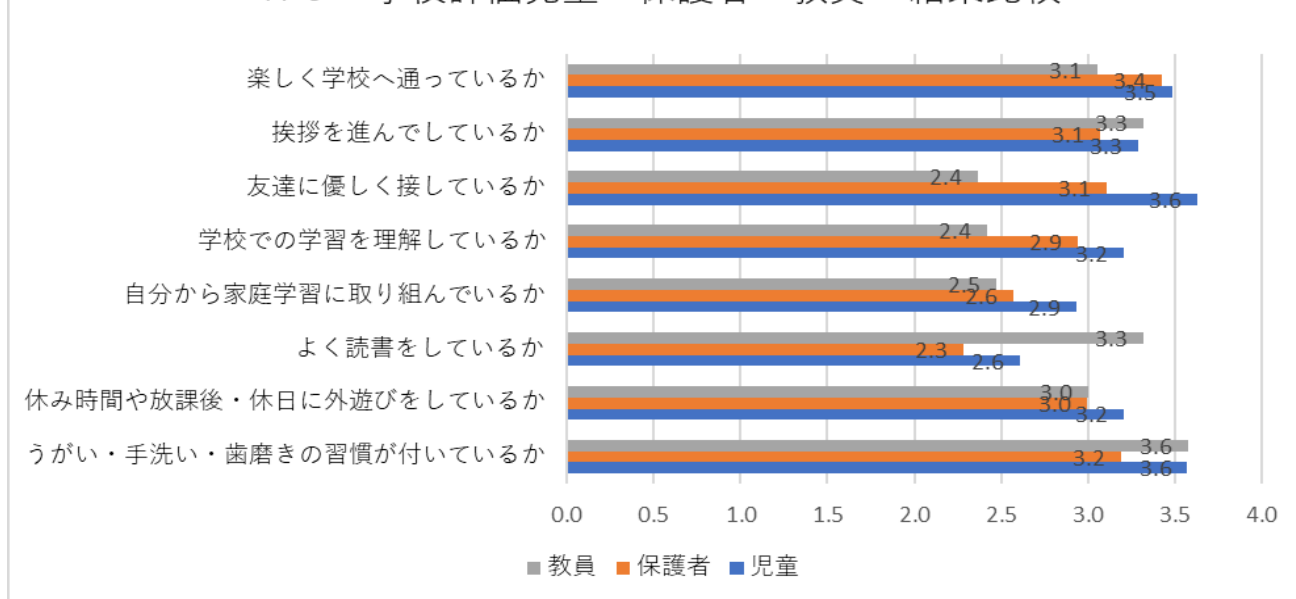
	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	さく ら	平 均	R5年度 前期平均	R4年度 前期平均	R3年度 前期平均
楽しく学校へ通っているか	3.6	3.9	3.4	3.5	3.4	3.2	3.5	3.5	3.4	3.3	3.5
挨拶を進んでしているか	3.3	3.5	3.3	3.3	3.1	3.3	3.3	3.3	3.3	3.2	3.2
友達に優しく接しているか	3.7	3.8	3.5	3.7	3.4	3.7	3.3	3.6	3.5	3.4	3.6
学校での学習を理解しているか	3.3	3.4	3.1	3.1	3.2	3.1	3.3	3.2	3.3	3.2	3.3
自分から家庭学習に取り組んでいるか	3.3	3.5	3.0	2.6	2.6	2.6	3.8	2.9	3.0	2.9	3.2
よく読書をしているか	2.9	2.9	2.9	2.3	2.4	2.2	3.0	2.6	2.8	2.7	2.8
休み時間や放課後・休日に外遊びをしているか	3.2	3.8	3.0	3.1	3.2	2.9	2.3	3.2	3.3	3.2	3.2
うがい・手洗い・歯磨きの習慣が付いているか	3.7	3.8	3.5	3.4	3.6	3.5	4.0	3.6	3.5	3.5	3.7



2 アンケート結果の比較（教員含む）

	児童	保護者	教員
うがい・手洗い・歯磨きの習慣が付いているか	3.6	3.2	3.6
休み時間や放課後・休日に外遊びをしているか	3.2	3.0	3.0
よく読書をしているか	2.6	2.3	3.3
自分から家庭学習に取り組んでいるか	2.9	2.6	2.5
学校での学習を理解しているか	3.2	2.9	2.4
友達に優しく接しているか	3.6	3.1	2.4
挨拶を進んでしているか	3.3	3.1	3.3
楽しく学校へ通っているか	3.5	3.4	3.1

R 6 学校評価児童・保護者・教員 結果比較



3 考察

保護者アンケートの結果は、前年度と比べてやや数値が下がっている項目が多い。例えば「楽しく学校へ通っているか」の項目は0.1ポイント、「友達に優しく接しているか」の項目は0.2ポイントのマイナスである。一方で、この2つの項目に関して、児童アンケートの結果では0.1ポイントのプラスとなっている。児童が思いやりの気持ちをもって友達と関わり合いながら学校生活を送ることができるよう、今後も継続して指導や声かけを工夫していくとともに、学校での児童の様子を、学校日より等で積極的に伝えていきたい。

学習に関わる2つの項目「学校での学習を理解しているか」「自分から家庭学習に取り組んでいるか」では、保護者、児童ともに前年度からマイナスの結果になっている。「学校での学習を理解しているか」の項目を学年別に見てみると、中学年の数値が低い。だんだんと学習内容が難しくなってきた、苦手意識をもち始める時期にあたるのが原因として考えられる。担任をサポートし、少人数指導を行う人員をできる限り配置することで、きめ細かな学習支援を行い、まずは学習意欲を高めていきたい。そうした学校での取組によって、家庭学習に前向きに取り組む姿勢も育むことができると考える。

また、今年度は、同様の項目で教職員による学校評価アンケートも実施した。児童との意識差が大きかったのは「友達に優しく接しているか」の項目である。児童の自己評価3.6ポイントに対して、教職員の評価は2.4ポイントと、厳しい評価となっている。児童が無意識に行っている行動や使っている言葉について、教職員はアンテナを高くして把握している状況がうかがえる。道徳等の授業のみならず、学校生活の様々な場面で、周りの友達を思いやる心情を育てていけるよう、引き続き全職員で共通理解をもって児童に声をかけていきたい。